

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP相模原プロジェクトSITE1(倉庫棟)	階数	地上6F
建設地	相模原市中央区田名字白雨台3532番3外	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、法第22の指定地域	平均居住人員	1,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2019年12月5日
敷地面積	111,141 m ²	作成者	株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所
建築面積	59,687 m ²	確認日	2019年12月5日
延床面積	304,835 m ²	確認者	株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入、リサイクル材・節水器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		
Q1 室内環境 ・居室に対して十分な自然換気性能を確保し、室内環境の向上に配慮している。	Q2 サービス性能 ・維持管理のしやすさに配慮した内装・外装設計をしている。 ・耐用年数の長い材料を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・特になし
LR1 エネルギー ・外皮性能を高め、効率のよい空調機器・全面的なLED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。	LR2 資源・マテリアル ・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。 ・GWP値の低い断熱材を使用し、フロンの使用を回避している。	LR3 敷地外環境 ・駐輪場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される